

---

## 第2回 印刷・製本ゼミ

---

ゼミ担当者 : 鈴木和徳, 阿部正洋, 宮坂敦志  
 指導院生 : 中村康昭, 中尾昌広  
 開催日 : 2003年5月20日

---

ゼミ内容: 本ゼミでは, KC-216 にあるプリンタの簡単な使い方について説明する. これらの機械は, 研究室の全員が使う機会があるので必ず知っておく必要がある.

### 1 Canon BJ-W9000

#### 1.1 Canon BJ-W9000 の紹介

Canon BJ-W9000 の全体図を Fig. 1 に示す. また, その仕様を Table 1 に示す.



Fig. 1 Canon BJ-W9000 の全体図

Table 1 Canon BJ-W9000 の説明

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 設置場所   | 香知館 2 階システムデザイン室 (KC216) |
| 用紙種類   | コート紙, 半光沢紙, 光沢紙          |
| 用紙サイズ  | B0, A0, B1, A1           |
| 解像度    | 1200 × 600dpi            |
| インクの種類 | Bk/C/M/Y/PM/PC の 6 色     |

#### 1.2 ソフトウェアからの印刷

Canon BJ-W9000 が印刷可能なファイル形式は以下の通りである.

- Microsoft Word
- DVI
- PDF

- Illustrator

ただし、Microsoft Word のクリップアートや Illustrator の半透明の図などはうまく印刷されないので注意すること。

### 1.3 各ソフトウェアでの印刷方法

まず「スタート」「プログラム」「Command WorkStation」を選択する<sup>1</sup>。すると Fig. 2 の画面がでる。

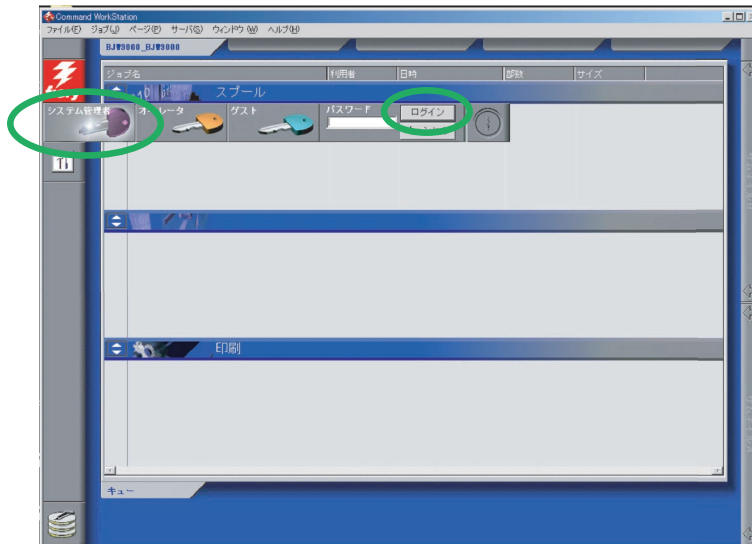


Fig. 2 Command WorkStation の画面

システム管理者が選択されていることを確認して、「ログイン」をクリックする（パスワードは入力する必要はない）。次に印刷したいファイルを開けて、「ファイル」「印刷」を選択すると Fig. 3 のような画面が出てくる（アプリケーションによって多少の違いはある。Fig. 3 は Illustrator での例）。

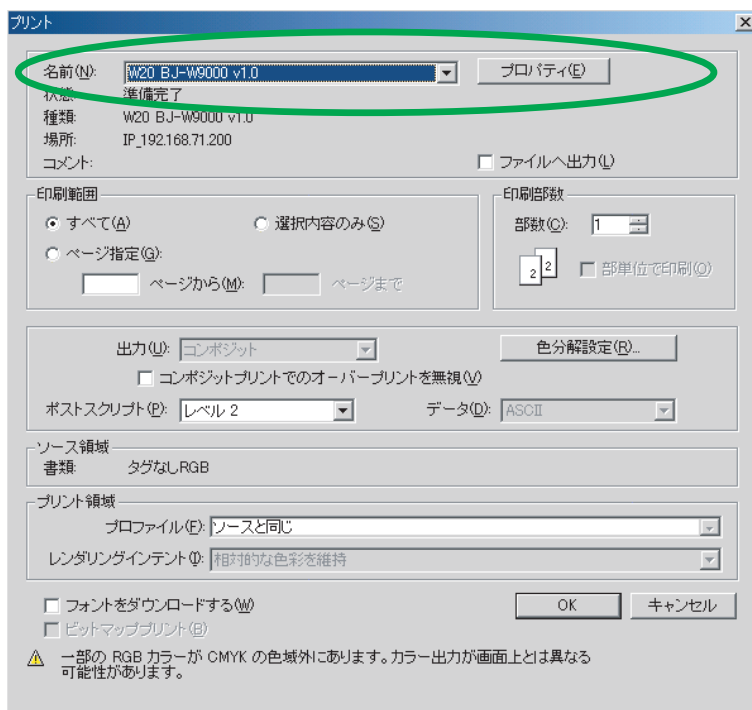


Fig. 3 Illustrator での印刷

<sup>1</sup>ソフトウェア上で「プリント」「ok」をしても直接印刷が行われるわけではなく、それらのジョブは一旦スプールされるためである。そのため、各ファイルからの印刷前に Command WorkStation を起動しておく必要がある。

この画面でプリンタ名の部分に W20 BJ-W9000v1.0 を選択し、ok ボタンを押す。するとプリンタへ印刷物がスプールされる。なお、詳細は Command WorkStation にスプールしてから変更可能なのでここでは変更しなくてよい。

#### 1.4 Command WorkStation

先ほどスプールされたジョブを実際にプリンタへ送るまでを説明する。用いるのは印刷前に起動していた Command WorkStation である。

#### 1.5 スプールされるまでの待ち時間の目安

1.3 節で説明した方法で印刷すると、Fig. 4 の楕円で示す部分にプリンタのマークが表示される。そのマークを右クリックし、W20 BJ-WJ9000 を選択すると Fig. 5 のようなウィンドウが開く。このウィンドウはアプリケーションからの出力の過程を表示しているので、ドキュメント名の行で、印刷したアプリケーションとファイル名を確認できる。Fig. 5 のサイズの列に示す容量が、印刷物のサイズに達すると、自動的に Command WorkStation に制御が移るので、それまでは他の作業をしておいてもよい。

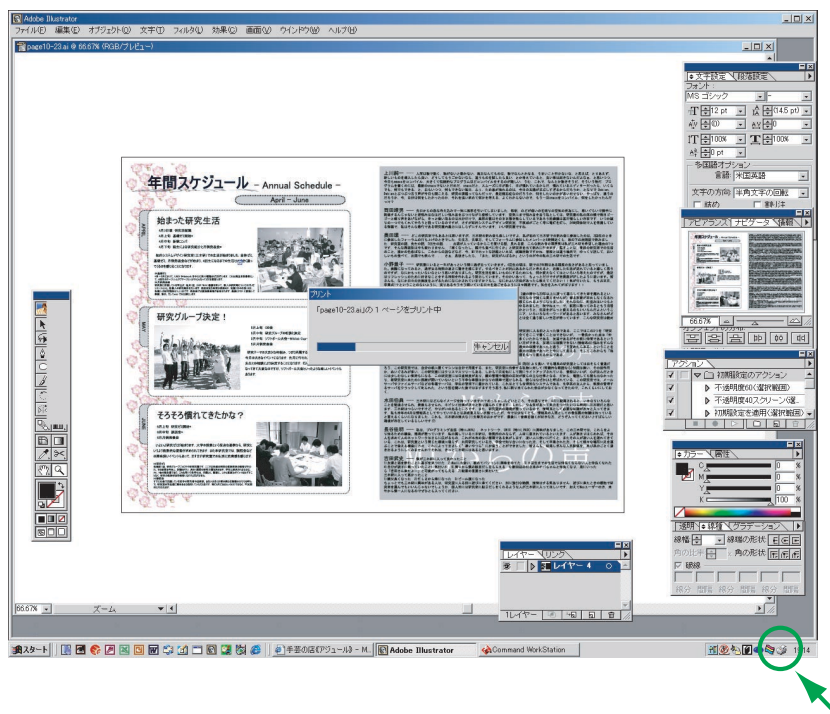


Fig. 4 プリンタプロパティの表示方法

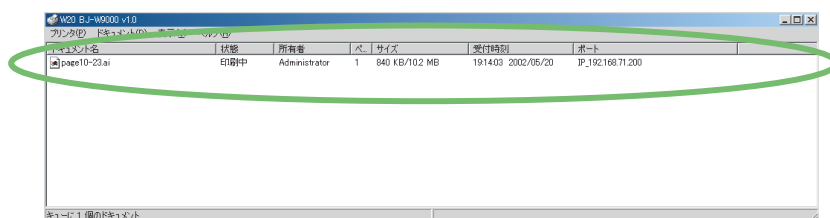


Fig. 5 プリンタプロパティ画面

#### 1.6 プリンタへ出力する方法とその際の設定変更

プリンタのプロパティ画面 (Fig. 5) のドキュメントが消えると、Fig. 6 のように Command WorkStation のスプールに印刷物の情報が表示される。一番下の欄はキャッシュであり、一度印刷したものを表示している。このアイテムを選択して再度印刷することもできる。

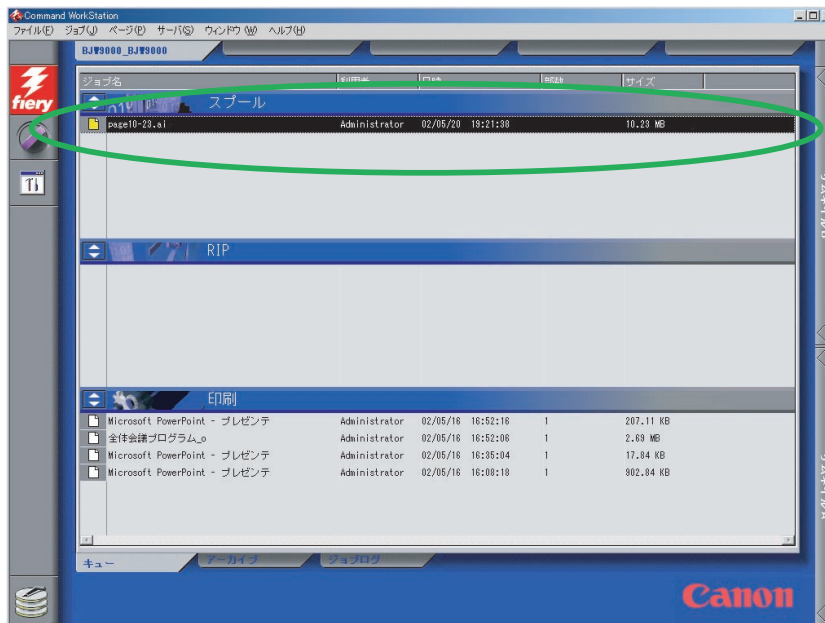


Fig. 6 Command WorkStation にスプールされた画面

このスプールにあるドキュメントを選択した状態で右クリックするといくつかのメニューが表示される。次はその中からプロパティを選択すると Fig. 7 のようなドキュメントのプロパティが表示される。

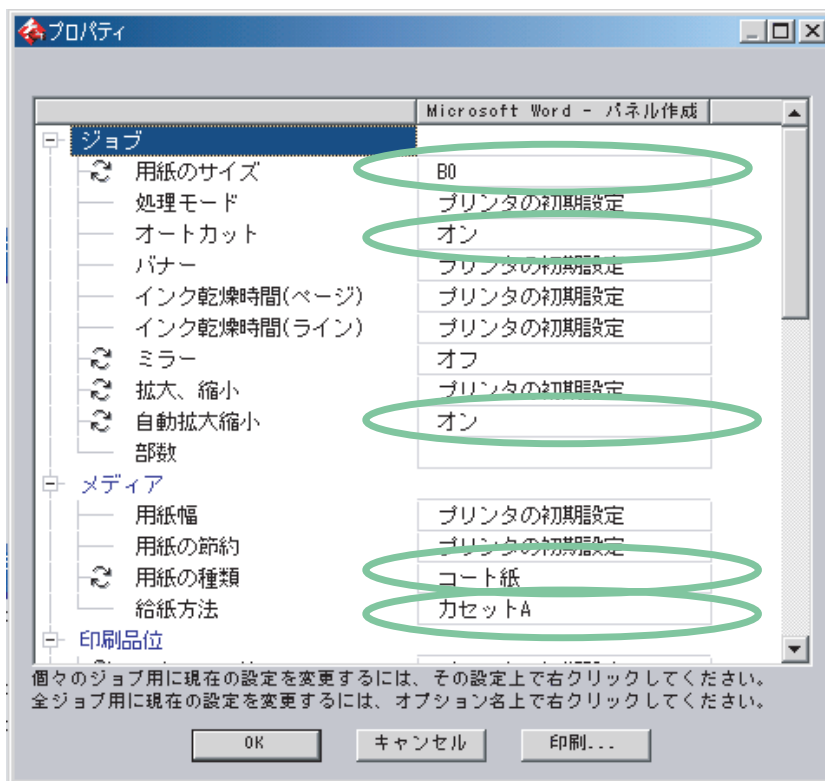


Fig. 7 ジョブのプロパティ画面

このウィンドウ内でいくつかの項目を変更する。変更の方法は各項目の枠を右クリックすることで選択画面が表示されるので、その中から選択項目を選ぶ。変更する項目を以下に示す。

- 用紙サイズ 印刷したいサイズ (B0, A0, B1, A1) に変更

- オートカット オン
- 自動拡大縮小 オン
- 用紙の種類 通常はコート紙
- 給紙方法 用紙の種類で選択した用紙が入っているカセットを選択（B0,B1 カセット A , A0,A1 カセット B）

それぞれの項目を選択しなおした後に、Fig. 7の ok ボタンを押し、Fig. 2の画面に戻る。

Fig. 2の画面上のスプール部分に、先ほど設定変更したジョブが選択状態になっているので、もう一度右クリックし、「印刷」を選択する。

すると自動的に印刷の部分にジョブが移り、印刷が開始するので、後は印刷完成を待つだけである。

#### 1.7 もし印刷が失敗していたと気が付いたとき

プリンタが作動しても、何も印刷されていなかったり、設定サイズよりも小さく出力されてしまったりすることがある。この場合はプリンタの設定が間違っているため、すぐにプリンタを止めること。

まずプリンタの上部にあるキャンセルボタンを押したあと実行ボタンを押す（Fig. 8 参照）。

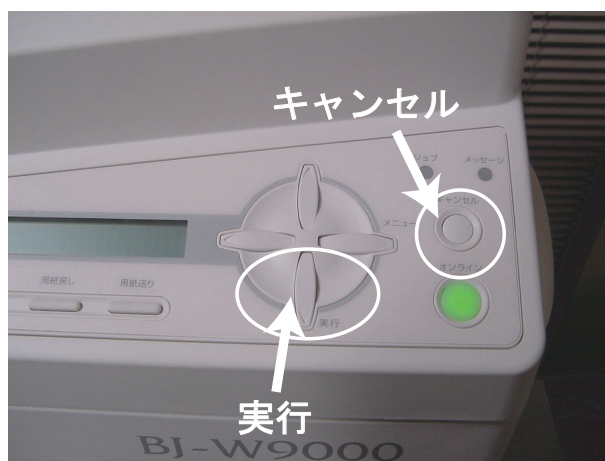


Fig. 8 キャンセルの仕方

すると印刷が途中で中断し、紙が切断される。その後でプリンタの設定などを見直し、プリントを再開する。

#### 1.8 インク切れのとき

インク切れのときは、Fig. 9のようにプリンタ本体右にあるカバーを開け、インクを交換する。インクはプリンタに向かって左の棚に置いてある。カバーを開けると図入りで詳しい取り付け方が示してあるのでそれを参考にする。



Fig. 9 インクの取り替え